

阿蘇火山博物館の学芸員の方を招いて、6年生合同の理科の授業がありました。カルデラの成り立ちや溶岩の地層のでき方を学習しました。



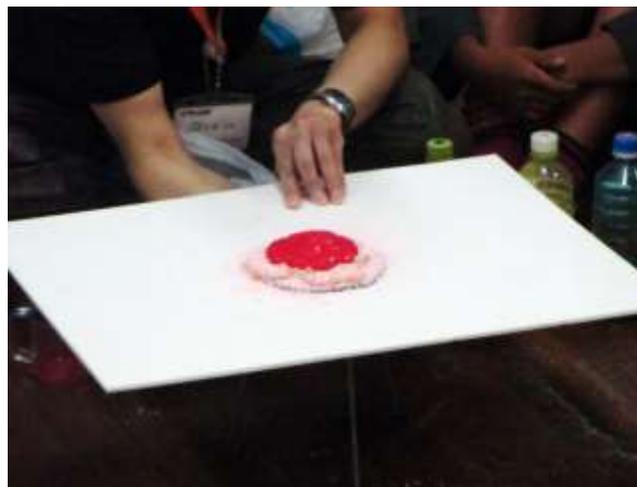
ビデオ視聴の後、実験です。



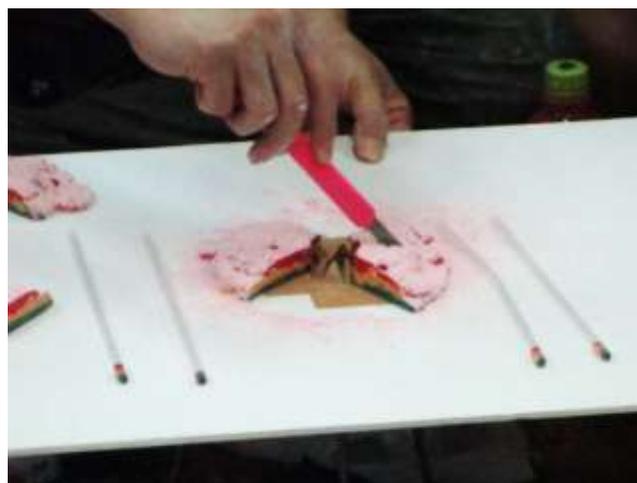
小麦粉の山の中に膨らませた風船(マグマ)を入れます。



風船の空気がなくなると(マグマが噴火すると)真ん中が沈み、まわりが残ります。これが、カルデラです。



溶岩が重なって地層ができます。下から色をつけた歯科印象材を出しています。



緑、黄色、赤の溶岩(歯科印象材)がかたまったところで、ストローを使ってボーリング調査をします。実際の山はカッターで切れないので、いたる所でボーリングをして地層の様子を調べています。